

# 山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年9月15日)  
地域部 山岳安全対策課

## 1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	289	33	5	144	140	322
令和6年	248	37	1	115	118	271
前年同期比	41	-4	4	29	22	51

## 2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	54	18.7%	8	0	27	25	60
	後立山	81	28.0%	7	1	37	51	96
	その他	46	15.9%	0	0	32	20	52
計	181	62.6%	15	1	96	96	208	
中央アルプス	19	6.6%	4	1	8	8	21	
南アルプス	11	3.8%	0	2	8	1	11	
八ヶ岳連峰	27	9.3%	3	0	16	9	28	
その他の山岳	51	17.6%	11	1	16	26	54	
計	289		33	5	144	140	322	

## 3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	75	26.0%	19	0	58	0	77
転倒	73	25.3%	1	0	72	0	73
病気	19	6.6%	3	0	0	16	19
道迷い	30	10.4%	0	0	0	46	46
落石	7	2.4%	0	0	7	0	7
雪崩	2	0.7%	1	0	1	1	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	44	15.2%	1	0	0	47	48
不明・他	39	13.5%	8	5	6	30	49
計	289		33	5	144	140	322

## 4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	5	5		0	0	1	0	1	6		
20代	1	0	3	14	18	37	0	0	1	5	6	24	55	
30代	3	1	3	7	14	16.8%	0	0	3	8	11	25	17.1%	
40代	4	1	13	12	30	80	1	0	14	3	18	43	123	
50代	6	0	20	24	50	36.4%	1	0	18	6	25	75	38.2%	
60代	6	2	26	21	55	103	0	0	16	8	24	41	144	
70以上	11	1	15	21	48	46.8%	0	0	11	6	17	65	44.7%	
計	31	5	80	104	220		2	0	64	36	102	322		
比率	68.3%						31.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生 (9/8~9/15)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
9月8日	北アルプス 槍沢	男	61	負傷	転倒	単独で槍ヶ岳から下山中、転倒、負傷
9月8日	中央アルプス 空木岳	男	61	負傷	転倒	2人パーティで宝剣岳から空木岳に縦走中、東川岳付近で転倒、負傷
9月9日	北アルプス 燕岳	女	58	負傷	その他	2人パーティで燕岳付近の山小屋に滞在中、腰痛により、行動不能
9月9日	北アルプス 五竜岳	男	64	無事救出	その他	3人パーティで五竜岳から遠見尾根を下山中、滑落後、登山道に戻れず、行動不能
9月9日	北アルプス 燕岳	男	60	負傷	転倒	2人パーティで燕岳から中房温泉登山口に向けて下山中、石につまづき、転倒、負傷
9月9日	松本市 十石山	男	47	無事救出	疲労	2人パーティで十石山に入山し、別々に行動中、疲労と体調不良により、行動不能
						上記遭難現場の写真
9月9日	北アルプス 蝶ヶ岳	女	74	無事救出	疲労	4人パーティで蝶ヶ岳から横尾に向けて下山中、疲労により、行動不能
9月15日	北アルプス 唐松岳	男	59	無事救出	発病	14人パーティで唐松岳に向けて登山中、発病により、行動不能
9月15日	中央アルプス 千畳敷	女	72	負傷	転倒	2人パーティで乗越浄土から八丁坂を下山中、転倒、負傷
9月15日	木曾郡木曾町 城山	女	74	負傷	その他	7人パーティで木曾福島城跡を登山中、虫に刺され、行動不能
9月15日	北アルプス 焼岳	女	61	負傷	転倒	2人パーティで焼岳から下山中、浮石でバランスを崩し、転倒、負傷
9月15日	飯田市 万古川	男	69	死亡	その他	4人パーティで万古川を沢下り中、滝壺に入り、脱出できなくなったもの

先週の山岳遭難の発生は、12件で、うち1件は死亡遭難です。  
本格的な秋山シーズンとなりましたが、先週は12件中、7件が北アルプスで発生し、人気の高さを伺わせます。  
今年の夏山シーズンでは、143件中、102件(71.3%)が北アルプスで発生しました。

**魅力ある北アルプスですが、  
急峻な岩稜帯や体力的に厳しいルートが多く、  
挑戦には日々のトレーニングや装備品を万全にするなど、  
事前準備が非常に重要です。**

体力や技術に自信の無い方で

「登山のトレーニングってどうすればいいの？」

「山の難易度(グレーディング)ってどうやって確かめるの？」

とお困りの方は、県警ホームページで公開中の

**「令和7年長野県登山Safety Book」**

を、ぜひご覧いただき、参考にしてください。

県内の標高が高い山域では、日中と朝夕の寒暖差が非常に大きく、稜線では、朝夕の気温は10度以下になります。  
日中でも、天候によっては低体温症のリスクが高まりますので、防寒装備やビバーク装備を携行しましょう。